

兼任教員情報公開用（最近5年間の主な業績等）

2025 年

氏 名	石田 剛	担当科目	民事法演習Ⅲ、発展ゼミⅡ、問題解決実践
学 位			
2015 年 1 月	博士（法学）（京都大学）		
主 な 学 歴			
年 月	事 項		
1990 年 3 月	京都大学法学部卒業		
1992 年 3 月	京都大学大学院法学研究科修士課程修了		
1995 年 3 月	京都大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得満期退学		
主 な 職 歴・経 歴			
年 月	事 項		
1995 年 4 月	京都大学 大学院法学研究科 助手（～1996 年 3 月）		
1996 年 4 月	立教大学 法学部 講師（～1998 年 3 月）		
1998 年 4 月	立教大学 法学部 助教授（～2006 年 3 月）		
2006 年 4 月	立教大学 法学部 教授（～2007 年 9 月）		
2007 年 10 月	同志社大学 大学院司法研究科 准教授（～2008 年 3 月）		
2008 年 4 月	同志社大学 大学院司法研究科 教授（～2011 年 3 月）		
2011 年 4 月	大阪大学 大学院高等司法研究科 教授（～2015 年 3 月）		
2015 年 4 月	一橋大学 法学研究科 教授（～2025 年 ）		
2015 年 4 月	一橋大学 法学部 教授（～2025 年 ）		
2021 年 4 月	一橋大学 法学研究科 法科大学院長（～2023 年 3 月）		
2025 年 4 月	早稲田大学 法学学術院 教授		
最近5年間の主な業績等			
年 月	事 項		
2025 年 2 月	【著書】 『民法理論の進化と革新—令和に読む平成民法学の歩み出し—』吉永一行編，根本尚徳，阿部裕介，山城一真，水津太郎，原田昌和，竹中悟人，石田剛，和田勝行，白石大，石川博康，中原太郎，田中洋，高秀成，木村敦子，石綿はる美，幡野弘樹（分担執筆）（日本評論社）		
2024 年 11 月	『専門訴訟講座⑤不動産関係訴訟（第2版）』澤野順彦，齋藤隆，岸日出夫編（分担執筆）（民事法研究会）		
2024 年 5 月	『判例講義民法Ⅰ総則・物権（第3版）』佐久間毅，松岡久和編著，西内康人，鶴藤倫道，後藤元伸，山下純司，竹中悟人，大中有信，西内康人，野々上敬介，岩藤美智子，尾島茂樹，齋藤由起，大久保邦彦，原田昌和，田中康博，石田剛，七戸克彦，武川幸嗣，藤澤治奈，石口修，秋山靖浩，神田英明，鎌野邦樹，関武志，鳥山泰志，占部洋之，山野目章夫，池田雅則，古積健三郎（分担執筆）（勁草書房）		
2024 年 2 月	『教養としての法学・国際関係学』青木人志，山田敦，平良小百合，野口貴公美，石田剛，杉山悦子，本庄武，緑大輔，酒井太郎，櫻庭涼子，吉村政穂，井上由里子，角田美穂子，竹村仁美，竹下啓介，秋山信将，市原麻衣子，クオン・ヨンソク，屋敷二郎，但見亮，安藤馨（分担執筆）（国際書院）		
2023 年 12 月	『民法チェックノート①総則』（共著）石田剛，野々上敬介，溝渕将章，吉永一行（有斐閣）		
2023 年 10 月	『民法と倒産法の交錯 債権法改正の及ぼす影響』中島弘雅，片山直也，岡伸浩編集代表 白石 大・杉本 和士・高田 賢治・藤澤 治奈編集委員（分担執筆）（商事法務）		
2023 年 9 月	『債権総論（第2版）』（共著）石田剛，荻野奈緒，齋藤由起（日本評論社）		
2023 年 5 月	『Before/After 民法・不動産登記法改正』青竹美佳，秋山靖浩，安部将規，荒木理江，石田剛，伊藤栄寿ほか（分担執筆）（弘文堂）		

2022年10月	『Law Practice 民法（第5版）Ⅱ債権編』石田剛，千葉恵美子，潮見佳男，片山直也編（分担執筆）（商事法務）
2022年10月	『Law Practice 民法Ⅲ親族・相続編（第2版）』石田剛，棚村政行，水野紀子，潮見佳男編（分担執筆）（商事法務）
2022年3月	『民法Ⅱ物権（第4版）』石田剛，武川幸嗣，占部洋之，田高寛貴，秋山靖浩（共著）（有斐閣）
2021年10月	『新基本法コンメンタール債権1』石田剛，遠藤研一郎，大澤慎太郎，奥富晃，桶舎典哲，小野秀成，片山直也，北居功，工藤祐蔵，倉部真由美，齋藤由起，下村信江，白石友行，高田晴仁，千葉恵美子，手嶋豊，中村肇，難波譲治，野澤正充，原田昌和，平林美紀，藤井徳展，松本恒雄，森永淑子，山口敬介（分担執筆）（日本評論社）
2021年10月	『Before/After 民法改正2017年債権法改正（第2版）』潮見佳男，北居功，高須順一，赫高規，中込一洋，松岡久和，秋山靖浩，安倍将規，荒木理江，飯島奈津子，井砂貴雄，石川裕一，石田剛，他（分担執筆）（弘文堂）
2021年9月	『債権法改正と判例の行方』秋山靖浩，石田剛，伊藤栄寿，水津太郎，田中洋，都築満雄，中原太郎，原恵美，藤澤治奈，松井和彦，宮下修一（分担執筆）（日本評論社）
2021年3月	『民法 Visual Materials 第3版』池田真朗，石田剛，田高寛貴，北居功，曾野裕夫，笠井修，小池泰，本山敦（分担執筆）（有斐閣）
2020年11月	『民法演習サブノート210問（共著）』石田剛（分担執筆）（弘文堂）
2020年10月	『改正債権法コンメンタール』松岡久和，松本恒雄，鹿野菜穂子，中井康之編，他執筆者多数（分担執筆）（法律文化社）
2020年3月	『LEGAL QUEST 民法Ⅰ総則（第2版補訂版）』佐久間毅，石田剛，山下純司，原田昌和（共著）（有斐閣）
	【論文】
2025年1月	「父の名義で開設された口座の預金者が口座を利用し管理する子であると認定された事例」別冊 NBL（民事判例研究1 2024年上期）32-35頁
2024年9月	「共同相続における法定相続分の取得と不動産登記」（潮見佳男先生追悼論文集『家族法学の現在と未来』）673-691頁
2024年2月	「事業者ファクタリングの「貸付け」該当性」（社会の多様化と私法の展開—小野秀誠先生古稀記念論文集）208-224頁
2023年11月	「遺産分割と第三者一相続法理と財産法理の協働・公法と私法の連携—」（家族〈社会と法〉39号）41-52頁
2023年7月	「不動産の取得時効完成後に当該不動産に設定され登記された根抵当権を譲り受けて根抵当権移転の付登記を了した者が背信的悪意者に当たるとされた事例」（私法判例リマックス2023年（下））67号6-9頁
2023年2月	「時効取得と登記（3）— 抵当権の設定と再度の時効取得」別冊ジュリスト民法判例百選Ⅰ〔第9版〕（262）112-113頁
2023年2月	「時効取得と登記（2）— 一時効完成後の譲受人と背信的悪意者」（別冊ジュリスト民法判例百選Ⅰ〔第9版〕262号）110-111頁
2023年2月	「債権譲渡の対抗要件の構造」（別冊ジュリスト民法判例百選Ⅱ〔第9版〕263号）48-49頁
2022年8月	「携帯電話基地局とするために屋上を賃貸する契約の決議要件」（マンション判例百選（別冊ジュリスト）259号）98-99頁
2020年10月	「動産及び債権の担保と公示制度の進化」（法律時報92巻11号）21-28頁
2020年9月	「外国語会話教室の受講契約の解約と特定商取引法49条」（別冊ジュリスト「消費者法判例百選〔第2版〕」249号）134-135頁
2020年8月	「日本における不動産登記手続法の概要」（民法研究第2集東アジア編9号）33-46頁
2020年7月	「相続による権利承継の対抗要件」（法学教室478号）6-12頁
2020年6月	「改正民法が民事裁判実務に及ぼす影響（11・完）債務者の責任財産の保全等に関する見直し」（判例時報2442号）125-138頁
2020年5月	「集合動産を目的とする所有権留保と譲渡担保との関係」（判例秘書ジャーナル（電子ジャーナル）HJ1000XX号）1-15頁
2020年3月	「家賃保証業者が委託に基づき賃借人の賃借人に対する賃料債務等を保証する契約中の諸条項と消費者契約法8条1項3号、10条、12条3項の適用」（民事判例20号）（日本評論社）2-5頁
	【講演・口頭発表】

<p>2022年11月 2019年10月</p>	<p>「遺産分割と第三者」日本家族〈社会と法〉学会 「不動産登記手続きについて」第9回東アジア民事法学会シンポジウム「東アジアの物権変動法制」 韓国 民事法学会</p> <p>【所属学会】 日本私法学会、信託法学会、日本登記法学会、金融法学会</p>
<p>(参考：外部リンク) プロフィールURL</p>	